

茨城の 土地改良

発行所

茨城県土地改良事業団体連合会

水戸市宮内町3193-3

電話 029-225-5651(代)

FAX 029-225-5239

編集兼発行人

葉 梨 衛



花貫溪谷 (高萩市)

目 次

令和5年度農業農村整備事業関係予算概算要求の概要	2
農業基盤整備資金の金利改定	2
農業農村整備の集いに参加	3
令和3年度決算監査及び令和4年度第2回監事会を開催	4
令和4年度第2回理事会を開催	4
茨城県農地局との事業推進検討会を開催	5
管理運営体制強化委員会・受益農地管理強化委員会を開催	5
いばらき自民党県政要望懇談会に参加	5
茨城県知事への要望活動を実施	6
いばらき水土里ネット女性の会 意見交換会を実施	7
男女共同参画推進ポスター	7
土地改良施設の盗難にご注意!	8

令和5年度農業農村整備事業関係予算概算要求の概要

去る8月31日（水）、農林水産省は、令和5年度農業農村整備事業関係予算の概算要求を発表した。また、農業農村整備事業関係予算は、対前年度比118.4%の5,273億円となっている。

[令和5年度 農業農村整備事業関係予算概算要求の概要] (単位：億円)

	令和4年度 当初予算額	令和5年度 概算要求額
農業農村整備事業(公共)	3,322	3,933 (118.4%)
農業農村整備関連事業(非公共) 〔 農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金 〕	540	651 (120.5%)
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	591	689 (116.5%)
計	4,453	5,273 (118.4%)

(注) 1. 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。
2. 下段()書きは令和4年度当初予算額との比率である。

農業基盤整備資金の金利改定

(株)日本政策金融公庫(旧農林漁業金融公庫)が貸し出す農業基盤整備資金の貸付金利が、令和4年10月1日以降下記のとおり改定された。

記

(単位：%)

区 分	利率一覧(令和4年10月1日現在)				
	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	0.75	—	—	—	—
団体営補助残	0.60	—	—	—	—
非補助一般	0.60	—	—	—	—
非補助利子軽減	0.60	—	—	—	—
災害復旧	—	0.20	0.35	0.55	0.60

農業農村整備の集いに参加



去る令和4年6月14日(火)に、東京都千代田区平河町のシェーンバッハ・サボアにおいて、「農を守り、地方を創る予算の確保に向けて」をテーマに、全国土地改良事業団体連合会主催の「農業農村整備の集い」がコロナ禍の中、全国より関係者約920名が参集し開催された。

始めに、全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長は主催者挨拶にて、「食糧安全保障の強化と農林水産業の持続可能な成長のため、土地改良により農地の大区画化・汎用化などを推進してい

くことが『国家の喫緊の最重要課題』であるとして、『骨太の方針』に明記された。」とし、「予算の確保に向け闘っていかねばならない。」と呼びかけた。また、土地改良での男女共同参画について「土地改良団体の活性化のためにも取り組んでいただくようお願いしたい。」と強調した。

次に、来賓として出席した金子原二郎農林水産大臣、森山裕衆議院議員より祝辞があった。

その後、進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より情勢報告、その後、「食料安全保障に寄与する土地改良事業の推進に必要な予算の安定確保」「大規模災害からの復旧・復興」「農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入を促す農地整備の推進」など9項目の要請内容を盛り込んだ要請案が全会一致で採択され、ガンバロウ三唱で集いの一切を終了した。

また、閉会后、本県においては、本県選出国會議員への要請活動を実施し、農業農村整備の集いで決議された要請文により要請活動を実施した。

要 請 書 (抜 粋)

全国の水土里ネットは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、一致団結して、次の事項の実現を図ることを国に要請する。

記

- 一 食料自給力の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化、事務手続きの更なる簡素化を図ること。
- 三 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 四 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 五 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設管理の省力化・高度化を図るとともに、情報通信技術を扱う土地改良技術者等の人材育成を図ること。
- 六 主として中小規模の土地改良区を対象とした合併等を推進するとともに、土地改良区における複式簿記の定着・活用、燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰への対応など、運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 七 流域治水の取組推進に当たっては、関係する農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組む農業者に過度な負担や責任が生じないよう配慮すること。
- 八 水田活用の直接支交付金の見直しにおいて、土地改良に与える影響を踏まえ、必要な措置を講ずること。
- 九 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるように配慮すること。

令和四年六月十四日

全国土地改良事業団体連合会
都道府県土地改良事業団体連合会

令和3年度決算監査及び令和4年度第2回監事会を開催

去る6月21日（火）水戸市「茨城県土地改良事業団体連合会会議室」において、雨谷総括監事及び岡田監事、鈴木監事の3名の出席のもと、本会の令和3年度決算監査及び令和4年度第2回監事会を開催した。

なお、監査は下記のとおり行われた。

【監査事項】

1. 令和3年度事務事業の執行について
2. 令和3年度会計収支決算状況について
3. 令和3年度財産目録の状況について
4. 特定個人情報・個人情報の管理について



監査の様子

監査では、雨谷総括監事から「令和3年度の『業務及び会計経理状況』、及び『個人情報保護に関する規程の安全管理措置の監査』並びに『特定個人情報取扱に関する監査』を併せて執行しましたところ、その状況については良好と認められました。土地改良事業発展のため、また、我々会員への指導・支援の向上のために、職員一丸となって、なお一層の努力をお願い申し上げます。」との監査結果報告があった。

令和4年度第2回理事会を開催

去る7月5日（火）水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、本会の令和4年度第2回理事会を理事21名の出席を得て開催した。

葉梨会長の挨拶に続き、来賓挨拶として茨城県を代表して郡司農地局長より挨拶があった。

そして葉梨会長を議長として議事に入り、根本専務理事による業務報告の説明

のあと、第1号議案「令和2年度事業報告、会計収入支出決算、貸借対照表及び財産目録の承認について」、第2号議案「茨城県土地改良事業団体連合会定款の一部改正（案）について」について、上程され、いずれも全会一致で可決承認された。



理事会の様子

茨城県農地局との事業推進検討会を開催

去る7月7日(木)水戸市「茨城県土地改良事業団体連合会会議室」において、茨城県農地局との事業推進検討会を開催し、農地局から郡司農地局長をはじめとする7名、本会役職員6名の計13名が出席した。

根本専務理事、郡司農地局長の挨拶の後、協議に入り、連合会の組織体制や年間行事予定、連合会が実施した要請活動実績及び予定等の説明を行った。続いて、農地局より各事業についての県の対応や今後の予定、要望活動等の説明を受けた。

本会議は例年実施しており、これまで積極的な情報交換の場となっている。

今後も県と連合会が一丸となり、さらなる連携強化を図っていきたい。

管理運営体制強化委員会・受益農地管理強化委員会を開催

去る7月14日(木)水戸市「茨城県土地改良事業団体連合会会議室」において、国・県・各管内土地改良区・県土連より下記の10名の強化委員を招き、管理運営体制強化委員会及び受益農地管理強化委員会を同日開催した。

根本専務理事による挨拶の後、各委員会にて令和3年度事業報告・収支決算及び令和4年度事業計画・収支予算について協議し、全て原案通り可決された。

(各強化委員)

・関東農政局農村振興部土地改良管理課	課長	飯田博隆	(管理・受益)	※当日欠席
・関東農政局土地改良技術事務所	所長	宮川賢治	(管理)	
・水戸地方法務局不動産登記部門	首席登記官	河村光章	(受益)	
・茨城県農林水産部農地局農村計画課	課長	金 徹	(管理)	
・茨城県農林水産部農地局 農地整備課	課長	渡辺邦夫	(管理・受益)	
・ひぬま川土地改良区	理事長	田口捷郎	(管理・受益)	
・高田土地改良区	理事長	篠崎惣壽	(管理・受益)	
・茨城南総土地改良区	理事長	鈴木 功	(管理・受益)	
・土地改良換地士		中川照夫	(受益)	
・茨城県土地改良事業団体連合会	専務理事	根本 力	(管理・受益)	
・茨城県土地改良事業団体連合会	事務局長	川松秀樹	(管理・受益)	

いばらき自民党県政要望懇談会に参加

去る8月29日(月)水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、いばらき自民党政務調査会「営業戦略農林水産部会」県政要望懇談会が開催され、本会から根本専務理事、川松事務局長が参加した。

はじめに、上月良祐参議院議員より「本日出席された各団体の要望と、現場で皆さまと意見交換させていただいた課題を国へと伝えていく。茨城は農林水産業が基盤なので、しっかりとやっていきたい。」と挨拶があった。

その後、各団体の要望事項の聞き取りが行われた。本会が行った要望は下記のとおり。

◆土地改良区の運営に対する支援について【新規】

◎特に施設に係る電気料金の負担軽減

◆農業農村整備事業の計画的・安定的な推進の為の予算確保【継続】

◎維持管理適正化事業

◎多面的機能支払交付金(農地維持、資源向上)

茨城県知事への要望活動を実施

去る9月28日（水）水戸市「茨城県庁5階第2応接室」にて、本会葉梨衛会長をはじめとする役員18名で大井川和彦茨城県知事と面会し、葉梨会長より大井川知事へ要望書を手交した。

要望書の内容は、土地改良区の運営に対する支援、特に電気料金の負担軽減についての要望であり、葉梨会長より内容の説明を行った。

また、副会長である村田村外三ヶ村土地改良区の赤城理事長より、理事長自らが育てた羽鳥米が知事へ手渡された。



大井川知事へ要望書を手交する葉梨会長



大井川知事へお土産を手渡す赤城副会長

大井川知事より「電気料金の高騰が土地改良区の経営を圧迫していることがよく分かった。国の施策等を活用し何らかの対策を取らなければならないが、それだけでなく長期的に見て、恒久的な対策ができないか知恵を絞って考えていく必要もある。」との言葉を頂き、面会は終了した。



大井川知事と面会者一同

いばらき水土里ネット女性の会 意見交換会を実施

去る9月22日(木)、水戸市「茨城県土地改良事業団体連合会会議室」において、「いばらき水土里ネット女性の会」意見交換会を開催した。今回は、会員からの発案により企画され、土地改良区と県土連の女性の会会員60名のうち、31名が出席した。

岸会長の挨拶の後、茨城県農林水産部農地局農村計画課の鈴木主任を講師に招き、「土地改良区等における男女共同参画の推進について」説明をいただいた。その中で、土地改良区等における女性理事登用に係る行動計画策定について、詳しい説明を聞くことができた。

その後の意見交換会では、今年度2月に開催予定の研修会の内容について、グループディスカッションを行い、終始和やかでリラックスした雰囲気の中、様々な意見が挙がった。具体的な内容については、11月開催の幹事会にて協議を行う予定である。



岸会長あいさつ



グループディスカッションの様子



実際に挙がった意見

お知らせ

現在、会員数は60名ですが、随時会員を募集しております。土地改良連合会のホームページに入会届を添付していますので、入会を希望する方はFAX又はメールで送信して下さい。

ホームページ URL : <http://ibarakidoren.or.jp>

お問い合わせ メールアドレス honsyo01@ibarakidoren.or.jp

電話 : 029-225-5651 FAX : 029-225-5239 本所総務部総務経理課

男女共同参画推進ポスター

土地改良団体における男女共同参画の推進について、全国土地改良事業団体連合会よりポスターが提供されました。本会では、令和4年9月16日付けで各会員へ送付しております。

データをご利用の際は、本会HPよりPDFデータをダウンロードのうえ、ご活用ください。



Aタイプ



Bタイプ

土地改良施設の盗難にご注意！



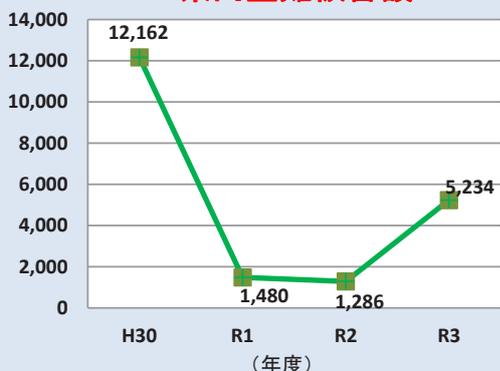
かんがい期・非かんがい期を問わず、水田の給水用蛇口を中心に土地改良施設の盗難が多発しています。その被害額は、茨城県全体で令和2年度は約130万円、令和3年度は約530万円となっています。

令和3年度は、給水口の金属製蛇口の被害が急増し、1,000個を超える盗難により被害額の約7割を占めました。

また、蛇口だけでなくグレーチングや施設の銘板等の盗難報告もありましたので、被害を防ぐための対策を土地改良区でお願いいたします。

(単位:千円)

県内盗難被害額



盗難被害に遭った給水用バルブ

盗難被害を防ぐために！

- ・ 農閑期には給水用バルブを外し、自宅等で保管する
- ・ プラスチック製のバルブを導入する
- ・ 可能であれば、部分的にでも防犯カメラを設置するなど



被害が発生してしまった時は、すぐに土地改良区へ連絡を入れ、警察への被害届も忘れずに！ 素早い対応が逮捕に繋がる場合があります。ご協力をお願いします！

現在、排水機場の電動機（モーター・制御盤のケーブル等）が盗難される事案も発生しておりますので、十分ご注意ください。



荒らされた施設内